

はげと野川をこわす道路

現時点で“反対”の表明 現計画の事業化に

西岡市長は、小池都知事宛てに要望書「優先整備路線に関する要望について」を10月31日に提出し、そのなかで「“はげ”と野川は、本市にとって最も大切にしている生態系豊かな自然です。」と、その価値を強調したうえで、

◆ 3・4・11号線

「私、小金井市長が了解できない状況下での事業化は進めないよう求めます」

◆ 3・4・1号線

「市長として、その見直しを求めます」と、表明。



市長が都に出した要望書、及び坂井が市長に出した申入れ書は
坂井ブログ→



【地図の作成、提供：はげの自然と文化をまるる会】

市民の声が市長に届いた!!

 この間、市民や議員が市長に働きかけてきたことが、西岡市長を動かしたのだと考えています。坂井が10月21日に行った『都市計画道路「3・4・11号線」「3・4・1号線」について』の申し入れも、その一助となったのかもしれない。市長が逆戻りしないように、チェックし続けることが必要です。



誰もが自分らしく暮らせる小金井に

12月8日は小金井市長選挙の投開票日です。市長選は、市民が、これからのまちづくりを考え、意思表示する大切な機会です。11月7日現在、正式に立候補表明しているのは、現市長の西岡真一郎さん、自民党所属の市議だった河野律子さんです。共産党市議の森戸洋子さんが「出馬」との報道もあります。

私が、初当選させていただいたのは4年前の市長選に伴う市議補選でした。以降、市政に対し是々非々で臨んでいますが、西岡市長の政策意志は不明確なので、もどかしい場面が多々あります。

西岡市長の政策では、評価できずに改善を求め続けていることがあります。例えば、市民や議員から反対や懸念の声が出ていたのに、検証や見直しをせずに実施した婦人相談員の非常勤化、そして現在、学校給食の質や小金井らしさを守るビジョンを示せていないまま、調理業務をすべて民間委託する方針を出していること等です。

一方で、評価していることもあります。表面で紹介した“はげ”と野川をこわす都市計画道路について、現職市長として“反対”の意向を示したことは小金井のまちづくりにとって極めて重要です。他にも、来年秋ごろをめざしての「同性パートナーシップ制度」の導入や2019年度の非常勤職員への待遇改善、チェルノブイリ事故以降、市民による食品の放射能測定について、老朽化した測定器を30年ぶりに更新したことは評価できます。いずれも市長判断があったからこそ実現しました。

現市長は、「市民との対話」や「市議会との合意形成」による開かれた市政運営を掲げています。12月の市長選で求められることは、市民の力を合わせ、かつての閉塞した市政に逆戻りさせないことです。市政運営では、更なる環境や人権に関する取り組みを求めます。私は、誰もが自分らしく暮らせる小金井をめざし、今後も是々非々で臨んでいきます。

2019年11月11日

小金井市議会議員 坂井えり子